



第90号

町長のしごと日記

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【節目を大切にしながら新たな思いで・・・】

三月三日のひな祭りも過ぎて、厳しい冬も終わりを告げ、ようやく春が日に日に近づいて来ている感じがいたします。

役場の前の高遠小彼岸桜もつぼみが膨らみ始めております。

三月一日(水)に、福島商業高等学校第六十九回卒業証書授与式にお招きをいただき、出席をさせていただきました。

二〇一九年に中国武漢市で新型コロナウイルス感染症が初めて確認されてから四年目を迎える中での卒業証書授与式となりましたが、今年は卒業生が久々にマスクを外しての授与式となり、生徒たちの純粋な表情が印象的でした。

私も卒業生の一人ですが、これまで四、〇五三人の卒業生を輩出しており、今年は新たに八名の卒業生が社会に巣立っております。祝辞でも述べさせていた

だきましたが、卒業生がコロナ禍の中で経験した困難を糧に、大人として様々な困難を乗り越え、真っ直ぐな気持ちをもって、社会にチャレンジしていただきたいと思います。

卒業生の答辞の中の言葉で、ご両親に心の中で何度も「ありがとう」と感謝していますとありました。

是非、これからも素直な言葉で気持ちを表現し、自分を育んでくれたご両親や先生方に感謝し、ふるさと福島町を誇りにもって、新たなふるさとの応援団となることを期待しています。

三月と四月は子どもたちにとって大事なイベントとして、小学校・中学校の卒業式や入学式が行われます。三月十五日(水)に福島中学校卒業式、十七日(金)に福島小学校の卒業式に出席をさせていただきました。子どもたちにとって同級生や先生方との別れ、新た

な友達との出会いの時でもあります。

子どもたちが日々の中で、これらの行事を通じて別れと出会いの「一期一会」を経験することで成長していく姿を期待しております。

また、コロナ禍で子育てに奮闘しているお父さんお母さんに、福島町の宝である子どもたちを日々育んでいただいていることに感謝申し上げます。

「頑張れ福島町の子どもたち」、福島町は皆さんを全力で応援いたします。

三月八日(水)から議会定例会三月会議が開催されました。

三月会議は、令和五年度の新たな町の予算が審議される大切な議会であり、夜間議会では一般質問が行われました。

また、予算審査特別委員会も同時に開催され、大変重要な議会となっております。

町政の基本方針や主要な施策にしましては、冒頭の町政執行方針で述べさせていただきましたが、新年度の予算規模は、五十一億九千三百万円となり、近年にない大型の予算となっております。

増額の要因は、新たな吉岡温泉建設事業及び若者や子育て世帯を対象とした、定住向け町有住宅整備事業に関連した予算が増額となったものです。

予算審査特別委員会での議論を経て、本会議において承認をいただいたうえで、町が予算を執行する仕組みとなっております。

引き続き、予算の適正な執行に努めてまいりますので、皆様方のご理解をお願いいたします。

なお、詳しい内容につきましては、広報等の予算のページでご確認ください。